

昨年度版

2024年度入試 資料集



常翔学園中学校

CONTENTS

❖学校・学園の概要	P 1
❖中学校の概要	P 4
❖学習システム	P 5
❖カリキュラム	P 6
❖学校生活	P 12
❖ICTを用いた授業展開	P 17
❖JOSHO ⁺ （放課後サポートシステム）	P 18
❖J P Cシステム	P 21
❖志願者・入学者	P 23
❖進路実績	P 24
❖Q & A	P 26
❖通学アクセス	P 29



学校・学園の概要

学校法人常翔学園 建学の精神

世のため、人のため、地域のため、理論に裏付けられた実践的技術をもち、現場で活躍できる専門職業人を育成する。

常翔学園中学校・高等学校

<教育の理念>

「自主・自律」の精神と幅広い「職業観」を養い、目的意識を持った進学の実現により、将来、実社会で活躍できる人材を育成する。

<教育の方針>

1. 正しい判断力を持ち、自ら行動できる人を育てる。
2. 生徒と教員の信頼関係を築くことで、個々の可能性を引き出し、その能力を最大限に発揮させる。
3. 生徒にとって、わかる授業・楽しい授業・ためになる授業を追求する。
4. 基礎学力の定着をはかり、進学先の専門教育に対応できる能力を育成する。
5. 就業体験、大学体験、授業などを通じて職業観を養成する。
6. 目的意識を持って進学先を主体的に選択する能力を育成する。
7. 学校行事、課外活動を通じて健全な心身と社会性を育てる。

沿革

1922（大正11）年	関西工学専修学校を創設 《後に現在の常翔学園高等学校に発展》	2004（平成16）年	教育理念・教育方針言語化再構築着手・策定
1933（昭和8）年	関西工業学校を開設	2005（平成17）年	在校生・保護者アンケート開始
1942（昭和17）年	摂南重機工業学校を開設	2006（平成18）年	キャリア教育「Josho Career-Up Challenge」開始、企業探究学習導入
1944（昭和19）年	摂南重機工業学校を摂南工業学校に改称 〔1951（昭和26）年に廃止〕	2008（平成20）年	大阪工業大学高等学校を常翔学園高等学校と改称
1948（昭和23）年	関西工業学校と摂南工業学校を統合し、 摂南学園高等学校を開設 土木科、建築科、電気科、機械科を設置	2009（平成21）年	普通科を4コース制（スーパー、特進、薬学・医療系進学、文理進学コース）に改編
1949（昭和24）年	摂南学園高等学校に普通科を増設	2010（平成22）年	北館（12階建て高層棟）完成
1950（昭和25）年	摂南学園高等学校を大阪工業大学高等学校に改称	2011（平成23）年	常翔学園中学校を開設 北館に2階建て低層棟を増築
1963（昭和38）年	自動車科を増設	2014（平成26）年	中学校1期生が卒業し、高等学校へ進学。 「一貫コース」の増設により5コース制に改編
1972（昭和47）年	男女共学制に移行	2015（平成27）年	北館低層棟屋上に内庭グラウンド（人工芝）を増設
1984（昭和59）年	普通科にコース制を導入	2017（平成29）年	中学校1期生が高等学校を卒業
2001（平成13）年	普通科のコース改編、工業科の科改編	2021（令和3）年	東館（スポーツ施設）完成
2002（平成14）年	本館完成	2022（令和4）年	学校法人常翔学園・常翔学園高等学校創立100周年。 中学校に「スーパーJコース」を増設
2003（平成15）年	工業科を募集停止 〔2005（平成17）年に廃止〕 普通科を5コース制（特進、薬学・医療系進学、情報系進学、普通、総合）に改編		

常翔ポリシー

＜スクール・ポリシー＞ ～スクール・ミッション～

人々が幸福で平和に生きることができる世の中を創るため、生徒中心の教育を重視し、グローバルシチズンシップを身につけた自律的学習者を育成する教育先進校となる。

本校では目指す方向や特色を明確にして教育活動を体系化するとともに、それらを生徒や教職員、地域社員の方々と共有するため、教育の理念に基づいた3つのポリシーを策定、展開しています。

＜アドミッション・ポリシー＞ ～求める生徒像～

- ・世の中のいろいろなことに興味を持ち、自ら学び、深く研究しようとする志のある人
- ・人を大切にし、人々のために貢献し、人に優しく生きることのできる人
- ・困難な状況においても、しなやかに順応し、乗り越えようとする人

＜カリキュラムポリシー＞ ～教育の方針～

常翔学園中学校・高等学校が掲げる教育理念に基づき、教育先進校として具体的に次のような教育を行っています。

- ・学園内大学と連携し、教育研究資源を活かした取り組みを行っています。
- ・グローバル社会で活躍できる人材育成を目指し、海外修学旅行をはじめ様々な国際教育を行っています。
- ・新たな未来社会「Society5.0」に向けてICTスキルをはじめ情報活用能力を高める教育を行っています。
- ・実社会で求められる課題解決力やコミュニケーション力、またプレゼンテーション力を身につけるため、系統立てたキャリア教育(課題解決型・探究型学習)を行っています。
- ・生徒に身につけてもらいたい3つの力を「知的冒険心」「ヒューマニティ」「レジリエンス」とし、それを支える10のコンピテンシー(右表の通り)を大切にした教育活動を行っています。

- | | |
|-------------|--------|
| ①知識技能を習得する力 | ⑥倫理観 |
| ②課題発見解決能力 | ⑦自己肯定感 |
| ③思考力・創造力 | ⑧柔軟性 |
| ④行動力 | ⑨メタ認知 |
| ⑤協調性・社会貢献 | ⑩主体性 |

＜グラデュエーション・ポリシー＞ ～卒業時に身につける力～

- ・実社会で活用できる高度な知識技能を身につけている。
- ・世界の問題や課題を進んで見つけ、当事者意識を持って解決しようすることができる。
- ・世の中の事象について論理的、科学的に考え、自分の考えを持つことができる。
- ・社会のために行動することで、自分の可能性を広げ、周囲に良い影響を与えることができる。
- ・より良い世の中を創るために、他者とコミュニケーションを図り、社会の役に立とうとすることができる。
- ・他者を尊重し、より良い社会を築くよう行動することができる。
- ・自分自身の魅力を周囲に発信し、他者の存在価値に気づきをもたらすことができる。
- ・困難に直面しても屈しない心身の強さと、状況に対応できるしなやかさを持ち合わせている。
- ・自分の思考や能力を把握した上で現状を確認し、思考や行動を変えることができる。
- ・自分の意志で自分を高めようと行動することができる。

学園の設置学校



常翔学園中学校・高等学校



コース／生徒数(全学年)

[中学校]	スーパーJコース／	55名 (25名)
	特進コースⅠ類／	108名 (47名)
	特進コースⅡ類／	232名 (70名)
[高等学校]	一貫コース	／274名 (100名)
	スーパーコース／	140名 (52名)
	特進コース	／578名 (201名)
	薬学・医療系進学コース／	129名 (89名)
	文理進学コース／	845名 (210名)

2023年5月1日現在 ※()内は内数で女子を示す。

大阪工業大学



工 学 部／都市デザイン工学科、建築学科、機械工学科
電気電子システム工学科、電子情報システム工学科
応用化学科、環境工学科、生命工学科
ロボティクス&デザイン工学部／
ロボット工学科、システムデザイン工学科、空間デザイン学科
情 報 科 学 部／データサイエンス学科、情報知能学科、情報システム学科
情報メディア学科、ネットワークデザイン学科
知的財産学部／知的財産学科
大 学 院

摂南大学



法 学 部／法律学科 国 際 学 部／国際学科
経 済 学 部／経済学科 経 営 学 部／経営学科
現代社会学部／現代社会学科
理 工 学 部／生命科学科、住環境デザイン学科、建築学科
都市環境工学科、機械工学科、電気電子工学科
薬 学 部／薬学科 看 護 学 部／看護学科
農 学 部／農業生産学科、応用生物科学科、食品栄養学科、食農ビジネス学科
大 学 院

広島国際大学



保健医療学部／診療放射線学科、医療技術学科（臨床工学専攻、臨床検査学専攻）
救急救命学科
総合リハビリテーション学部／リハビリテーション学科
（理学療法専攻、作業療法専攻、言語聴覚療法専攻、義肢装具学専攻）
健康スポーツ学部／健康スポーツ学科
健康科学部／心理学科、医療栄養学科、医療経営学科
社会学科（地域創生学専攻、社会福祉学専攻）
看 護 学 部／看護学科
薬 学 部／薬学科
大 学 院

常翔啓光学園中学校・高等学校



中 学 校／特進選抜コース、未来探求コース
高 等 学 校／特進コースⅠ類〔選抜〕、特進コースⅡ類、進学コース

(1) 設置コース

スーパーJコース、特進コース（Ⅰ類・Ⅱ類）の2コース制を軸に生徒一人ひとりのモチベーションを高める6年間の教育を実践します。最終的には国公立大学及び難関私立大学への現役合格をめざします。

(2) 常翔スタディ・スタイル

独自の学習システムで基礎学力の定着を図るとともに、将来必要となる学力の3要素（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力・人間性等」）を育みます。多岐にわたる取り組みは、学ぶ意欲を駆り立て、自らを律して学ぶ姿勢を育む「常翔STEAM」へとつなげます。

(3) 常翔 STEAM

本校では、今まで取り組んできたキャリアプログラムをさらに進化させ、平時の授業・活動に加えて週2時間の総合的な学習の時間でもSTEAM教育※に取り組んでいます。

※ STEAM 教育とは、学問領域を横断して指導する枠組みのことで、科学 (Science)、技術 (Technology)、工学 (Engineering)、リベラルアーツ (Liberal Arts)、数学 (Mathematics) の5つの教育理念です。

(4) 生徒指導

生徒個々の人格を尊重し、本校生徒としての誇りと自覚を促すとともに、生徒個人が「自主・自律」の精神を高めることを目標としています。生活面では、特にしつけ指導『挨拶・掃除・身だしなみ』を合言葉に挨拶の励行、服装、頭髮、遅刻、登下校のマナーなど、全教員が一致協力して指導にあたっています。

(5) 生徒会活動

生徒会組織は、会長・副会長・書記・会計の役員、学級代表・副代表で構成されています。生徒会は、体育祭・文化祭・球技大会などの学校行事で中心的な役割を果たすだけでなく、ボランティア活動・部活動の支援など学校生活の充実や改善・向上を図る活動、各教科の学習係を担っています。

(6) ICT 教育 P17 をご覧ください。

教科書とノートを使った従来の教育スタイルから変化し、教師は生徒のタブレットに問題を配信、生徒が答えた解答がすぐにスクリーンに映し出されます。またタブレットを使い発表用のスライドを作成します。

(7) クラブ活動 P16 をご覧ください。

本校には11の運動部・5つの文化部・3つのサークルがあり、活発な活動を行っています。

(8) JPCシステム（保護者との教育情報共有システム） P21 をご覧ください。

保護者の希望を事前に把握し、学校から電話連絡を行うほか、定期テストごとの「保護者個人懇談」、年3回のさまざまな情報提供を行う「保護者会」、学校生活の様子をホームページでお伝えするなど、学校と家庭で情報を共有します。

生徒の学習面のフォロー

学習タイム

学習タイムは月曜日、水曜日、金曜日の放課後を用いて、クラスごとにメニューを決めて全員必修の補習を行います。
(中学 1 年次)

	月曜日	水曜日	金曜日
16:40 ~ 17:30	「スーパー J コース」 特別授業 「特進コース (I 類・II 類)」 学習タイム	15:45 ~ 16:50 JOSHO ⁺ 17:00 ~ 19:20 JOSHO ⁺ (F)	「スーパー J コース」 特別授業 「特進コース (I 類・II 類)」 学習タイム
17:30 ~ 18:20	JOSHO ⁺		JOSHO ⁺
18:20 ~ 19:20	JOSHO ⁺ (F)		JOSHO ⁺ (F)

※この時間割はモデルです。定期テスト前や外部模試の直前には対策補習などになります。

■ 内 容 ■

- ①「特別授業」：スーパー J コースのみ（2 年次から）。受験する模試対策や、科学探究活動を行います。
- ②「学習タイム」：授業の補完や課題に全員で取り組みます。
- ③「JOSHO⁺」：全員が「JOSHO⁺」に参加します。
- ④「JOSHO⁺ (F)」：③の JOSHO⁺ の後および火曜日、木曜日、土曜日の放課後に希望者が質問型個別指導に取り組みます。
1 学期の間は担任から指名されます。終了時刻は状況により変更があり得ます。

フォローアップ補習

フォローアップ補習は JOSHO⁺ と連携を取りながら、火曜日、木曜日と土曜日の放課後に行います。モーニングテストは 70 点、定期テストは 50 点という基準点を設けていますので、これらのテストで基準点に達しない生徒が対象になります。基準点に達しないままにせず、わかるまで指導します。成績の回復が認められると部活動に参加することができます。

- ①モーニングテストが複数回に渡り基準点に達しない場合はフォローアップ補習の対象となります。
- ②模擬試験の成績が基準点に達しない場合には成績の回復を優先し、フォローアップ補習に参加します。

季節講習

各学期終了後の特別講習として、夏期は「サマースクール（前期・後期）」、冬期は「ウインタースクール」、春期は「スプリングスクール」を実施します。休暇中の中だるみを防ぎ、当学期の復習と次学期の予習に充てます。



カリキュラム一覧 (数字は週当たりのコマ数)

中学校(2024年度)

教科等	1年	2年	3年
英語	6	6	6
数学	6	6	6
国語	6	6	6
理科	4	4	4
社会	3	3	4
保健体育	3	3	3
美術	1.25	1	1
音楽	1.25	1	1
道徳	1	1	1
総合学習	2	2.5	2.5
技術家庭	2	2	1
L H R	1	1	1
合計	36.5	36.5	36.5

高等学校(2024年度、一貫コース)

コース			一貫コース												
			Ⅰ類				Ⅱ類								
教科	学年 科目	標準 単位	1年	理系		文系		理系		文系		理系		文系	
				2年		3年		2年		3年					
国語	現代の国語	2	2												
	言語文化	2	2												
	論理国語	4		3	3	2	2	3	3	2	2				
	文学国語	4					4					4			
	古典探究	4		3	3	3	3	3	3	3	3				
	国語演習														
地理歴史	地理総合	2		2	2			2	2						
	地理探究	3				☆3	☆3			☆3	☆3				
	歴史総合	2	2												
	日本史探究	3			◇3		◇3			◇3		◇3			
	世界史探究	3			◇3		◇3			◇3		◇3			
	日本史演習						△2					△2			
	世界史演習						△2					△2			
公民	公共	2	2												
	政治・経済	2		2	2			2	2						
	公民演習					☆3	☆3			☆3	☆3				
数学	数学Ⅰ	3	4												
	数学Ⅱ	4		4	4			4	4						
	数学Ⅲ	3				4				4					
	数学A	2	2												
	数学B	2		2	2			2	2						
	数学C	2				3	2			3	2				
	数学演習					2	2			2	2				
理科	物理基礎	2	2												
	物理	4		※3		※3		※3		※3					
	化学基礎	2	2												
	化学	4		3		4		3		4					
	生物基礎	2	2												
	生物	4		※3		※3		※3		※3					
	理科演習				3		3		3		3				
保健体育	体育	7～8	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
	保健	2	1	1	1			1	1						
	スポーツ1														
	スポーツ2														
芸術	音楽Ⅰ	2	*2												
	音楽Ⅱ	2													
	美術Ⅰ	2	*2												
	美術Ⅱ	2													
	書道Ⅰ	2													
	書道Ⅱ	2													
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	4												
	英語コミュニケーションⅡ	4		4	4			4	4						
	英語コミュニケーションⅢ	4				4	4			4	4				
	論理・表現Ⅰ	2	2												
	論理・表現Ⅱ	2		3	3			3	3						
	論理・表現Ⅲ	2				2	2			2	2				
	英語演習					2	2			2	2				
家庭 情報	家庭基礎	2		2	2			2	2						
	情報Ⅰ	2	2												
	情報実習														
総合的な探究の時間		3～6	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1		
ホームルーム活動		3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
合 計			36	37	37	36	36	36	36	36	36	36	36		

注意 *印から1科目、※印から1科目、☆印から1科目、◇印から1科目および△印から1科目選択する。

5科コア・カリキュラム<2024年度>

本校では日常の授業を通じ、より高い学習成果を得るために、学習内容やその方法についてしっかりと6年間分体系立てた「シラバス（授業計画）」のもと、6年後の大学受験に向けて、最も合理的な道のりを提供したいと考えています。その一端として、受験に重要な英・数・国・理・社の5科について、本校シラバスの中核をなす「コア・カリキュラム」をご覧ください。

以下は、「生徒の理解度をきちんと見つめながら、最善の成果を生み出す常翔スタディスタイルの核（コア）」を表す5科の表です。

◆ 英語

Grade Term	1st			2nd			3rd			4th			5th			6th		
	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd
教科書進度	中 1			中 2			中 3			高 1			高 2			高 3		
時間割上の 1週間の 時間数	週6日間+学習タイム									論理・表現Ⅰ（2） 英語コミュニケーション(英語CⅠ)（4） ＝計6時間			論理・表現Ⅱ（3） 英語コミュニケーション(英語CⅡ)（4） ＝計7時間			論理・表現Ⅲ（2） 英語コミュニケーションⅢ（4） 文系：英語演習（2） ＝文系：8時間、理系：6時間		
使用教材	NEW TREASURE STAGE 1 （文法問題集も）			NEW TREASURE STAGE 2 （文法問題集も）			全国高校入試 問題正解			文法教材（参考書、問題集） 単語集			英語構文（参考書） 英作文問題集			大学入学共通テスト対策 問題集 （リーディング、リスニング）		
	検定教科書			検定教科書			検定教科書			検定教科書			検定教科書			検定教科書		
	NEW TREASUREと検定教科書に取り 組む事により、読解力を向上させる。 文法問題集については、英語a、英語b 両方で取り組み、理解力を高める。 常翔STEAMで後期より、英会話講座 を実施する。（クラス替え2回）			NEW TREASUREと検定教科書に取り 組む事により、読解力を向上させる。 文法問題集については、英語a、英語b 両方で取り組み、理解力を高める。 常翔STEAMで前期に英会話講座を 実施し、イングリッシュキャンプでの発表 表につなげる。（クラス替え2回）			全国の高校入試問題に触れることで読 解力を高める。週1回、ALTによる英 会話授業の実施。英語スピーチコンテ ストの直前にも集中英会話講座を実施 する。			英語CⅠのうち、1時間は前半はALTIに よる英会話、後半はオンライン英会話 を実施し、スピーキングやリスニング 力の向上に努める。単語や文法につい ては、小テストや終礼テストでも実施 し、全体の学力向上に努める。			英語CⅡのうち、1時間は前半はオンラ イン英会話、後半はALTとの英会話を 実施し、スピーキングやリスニング力 の向上に努める。国公立大の二次試験 対策として、英作文の向上に力を入れ る。			大学入学共通テスト対策のみにとどま らず、国公立大の二次試験対策や難関 私立大の対策にも取り組む。模擬テス トの復習や入試問題の過去問なども学 習合宿や特別補習期間中を含めて、演 習を行う。		
英検	ス ー パ ー ー			2級 → (A合格)			準1級 → 1級											
	特 進			3級 → 準2級			2級 → 準1級											

◆ 数学

Grade Term	1st			2nd			3rd			4th			5th			6th														
	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd												
教科書進度	中 1			中 2			中 3			高 1			高 2			高 3			問題演習											
時間割上の 1週間の 時間数	週6日間+学習タイム																		数学Ⅰ (4) 数学A (2)			理系・文系 数学Ⅱ (4) 数学B (2)			理系 数学Ⅲ(4) 数学C (3) 数学演習(2)			文系 数学演習(4)		
実際に扱う 教科書 時間数	6時間×23週＝138 中1分野			6時間×23週＝138 中2分野			6時間×24週＝144 中3分野			数学Ⅰ、数学A 6時間×35週＝210 高1分野			数学Ⅱ・数学B 5時間×35週＝175 3時間×35週＝105 高2分野			理系 高3分野 数学Ⅱ 4時間×35週＝140 数学C 2時間×35週＝70 文系 数学演習 数学Ⅱ 4時間×35週＝140 数学C 2時間×35週＝70 マーク問題対策			理系 数学Ⅲ、数学C、数学演習 9時間×35週＝315 マーク問題、記述対策 文系 数学演習 4時間×35週＝140 マーク問題対策			国公立大 2次対策								
	数学 a 正の数と負の数 式の計算 1次方程式 1次不等式 1次関数			数学 a 因数分解 平方根 数と式 2次方程式 関数			数学 b チェバ・メネラウスの定理 相似 三平方の定理 円 空間図形			数学Ⅰ 数と式 集合と論証 2次関数 図形と計算 データの分析 数学A 場合の数と確率 図形の性質 数学と人間の活動			数学Ⅱ 方程式・式と証明 図形と方程式 軌跡と領域 三角関数 指数・対数関数 微分積分 数学B 数列 統計的な推測			数学Ⅲ 極限 微分法 積分法 数学C ベクトル 複素数平面														
学習事項	幾何学の基礎 図形の移動と拡大・縮小 面積と体積 証明 三角形と四角形 平行線と比例																													
留意点	教科書と問題集を使いながら、問題演習を増やしていく																		検定教科書を使いながら、問題演習を増やしていく			演習では大学入学共通テスト対策を実施したり、国公立二次試験など記述力の向上を目指した取り組みを実施したりする。								
数検	→ 4級			→ 3級			→ (準2級)			→ (準1級)			→ (準1級)			→ (準1級)														

◆ 国語

Grade Term	1st			2nd			3rd			4th			5th			6th		
	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd
教科書進度	中 1			中 2			中 3			高 1			高 2			高 3		
時間割上の 1週間の 時間数	週6日間+学習タイム									現代の国語 (2) 言語文化 (2)			理系・文系 論理国語 (3) 古典探究 (3)			理系 論理国語 (2) 古典探究 (3) 文学国語 (4) 古典探究 (3)		
実際に扱う 教科書 時間数	3時間×35週＝105			3時間×70週＝210			【上記の通り】			【上記の通り】			【上記の通り】			【上記の他 課外補習】 小論文対策		
文法/ 論述/書写 授業数	文法 (口語) 1時間×35週＝35 国語基礎基本 1時間×35週＝35 書写 0.5時間×35週＝17.5 演習 0.5時間×35週＝17.5			文法 (古文・漢文) 1時間×35週＝35 国語基礎基本・論述 1時間×35週＝35 書写 0.5時間×35週＝17.5 演習 0.5時間×35週＝17.5			文法 (古文・漢文) 1時間×35週＝35 国語基礎基本・論述 1時間×35週＝35 演習 0.5時間×35週＝17.5			【講習補習】 実力養成問題演習			【講習補習】 志望校別入試問題演習			【講習補習】 志望校別入試問題演習		
学習事項	小説・評論・随筆基礎 韻文・古文基礎 口語文法構成 国語知識再整理 要約訓練徹底 朝テスト：教育漢字1006字 完成			小説・評論・随筆実践 韻文・古文知識 (和歌・短歌等) 口語文法完成～古典文法 (仮名遣い～助動詞) 漢文導入 (訓点～基本句形) 論述練習 解答法基礎 要約訓練徹底 朝テスト：常用漢字1945字			大学入学共通テスト及び中堅私立～関関同立即応 古文知識完成 古典文法 (助詞・敬語・識別～総復習) 漢文読解・演習～実践 語彙基礎～応用徹底 解答法応用 要約訓練徹底			大学入学共通テスト及び中堅私立～関関同立即応 古文知識完成 古典文法 (助詞・敬語・識別～総復習) 漢文読解・演習～実践 語彙基礎～応用徹底 解答法応用 要約訓練徹底			首都圏私立・国公立二次即応 大学入試共通テスト・関関同立即応 古文・漢文問題演習集中語彙完成 解答法完成 要約訓練徹底 入試に出る漢字完成					
留意点	・授業は教科書教材を中心に読解力を養成する ・演習は模試対策を兼ねる ・文法、知識分野は中学受験の内容を遡及する ・漢字は基礎教育の徹底を軸に朝テストで漢検対策を行う ・記述力の基礎作りを行う			・授業は教科書教材を中心に読解力を養成する ・演習は模試対策及び解答法の習熟、論述の錬成を兼ねる ・文法、知識分野は口語・古典文法/短歌・和歌などを対象とする ・漢字は基礎教育の徹底を軸に朝テストで漢検対策を行う			・授業は教科書から教材を抜粋し、読解力を養成する ・演習は模試対策や解答法の完成、入試問題演習を行う ・古典は古典文法の完成と古語、古典常識、読解演習 ・漢字は基礎の完成及び入試に即応した力をつける ・小論文は基礎から実践に向けた取り組みを行う ・小テストを活用し、語彙力、古語力の徹底習得			・授業は現代文、古文、漢文の入試問題演習を中心に実施する ・入試小論文の対策を行う								
漢検				準2級			2級											

◆ 理科

Grade Term	1st			2nd			3rd			4th			5th			6th		
	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd
教科書進度	中 1			中 2			中 3			高 1			高 2			高 3		
時間割上の1週間の時間数	理科 (4)			理科 (4)			理科 (4)			物理基礎 (2) 化学基礎 (2) 生物基礎 (2)			理系	化学 (3) 物理または 生物 (3)		理系	化学 (4) 物理または 生物 (3)	
													文系	理科演習 (3)		文系	理科演習 (3)	
実際に扱う教科書 時間数	4 時間×3.5 週 = 14.0			4 時間×3.5 週 = 14.0			4 時間×3.5 週 = 14.0			物理基礎 2 時間×3.5 週 = 7.0 化学基礎 2 時間×3.5 週 = 7.0 生物基礎 2 時間×3.5 週 = 7.0			理系	化学 3 時間×3.5 週 = 10.5 物理または 生物 3 時間×3.5 週 = 10.5		理系	化学 4 時間×3.5 週 = 14.0 物理または 生物 3 時間×3.5 週 = 10.5	
													文系	理科演習 3 時間×3.5 週 = 10.5		文系	理科演習 3 時間×3.5 週 = 10.5	
学習事項	身近な物理現象 大地の成り立ちと変化 身の回りの物質 いろいろな生物とその共通点 生物の体のつくりと働き			電流とsoの利用 気象とその変化 化学変化と原子・分子 生物の体のつくりと働き 生命の連続性			運動とエネルギー 地球と宇宙 化学変化とイオン 生命の連続性 科学技術と人間 自然と人間			教科書の内容を中心に扱い、全範囲 取り組む。			理系	教科書の内容を中心に 扱う。		理系	教科書の内容が終わり 次第問題演習を行い、 実践力を身につける。	
													文系	1 年次に履修した基礎 を付した科目の問題演 習を行う。		文系	1 年次に履修した基礎 を付した科目の問題演 習を行う。	
留意点	教科書の内容を十分に理解させる。内容の理解を深めるために適宜、実験を行う。さらに問題演習で知識の定着を図る。物理分野・化学分野・生物分野を重視した内容で深い学習をする。また、地学分野は教科書レベルの内容で理解させる。予習よりも復習重視の勉強法で定着理解を図る。中学 1 年の常翔STEAMでは分野横断的な取り組みを行うことによって、物事を多面的に捉え解決する力を育む。						2 年次以降の専門の科目を見据えて、教科書の内容を十分に理解させて、教科書の内容を観察を行い、理科への興味関心を持たせるとともに理解を深める。また、問題演習で大学入試に向けた実践力を身につける。						理系は大学入学共通テストや難関大学入試のいすれにも対応できる実力をつけることを目標に学力アップを図る。 文系は 2 年次に引き継ぎ大学入学共通テスト対策を進め、高い得点力を身につけさせることを目標におく。					

◆ 社会

Grade Term	1st			2nd			3rd			4th			5th			6th		
	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd
教科書進度	中 1			中 2			中 3			高 1			高 2			高 3		
分野科目 () は単位数	地理 (3)			歴史 (3)			社会 a (歴史分野の「近現代史」と 公民分野の「経済」「国際社会」) (2) 社会 b (公民分野の「政治」) (2)			公共 (2) 歴史総合 (2)			地理総合 (2) 政治・経済 (2)			理系		
																文系		
																文系		
																理系		
時間割上の1週間の時間数	週 3 時間			週 4 時間			週 4 時間			週 4 時間			週 4 時間					
													週 7 時間					
													週 3 時間					
													週 8 時間					
実際に扱う教科書 時間数	3 時間×3.5 週 = 10.5			3 時間×3.5 週 = 10.5			4 時間×3.5 週 = 14.0			各 2 時間×3.5 週 = 7.0 合計 14.0			地理探究または 公民演習 3 時間×3.5 週 = 10.5					
													文系					
													文系					
													理系					
学習事項	世界のさまざまな地域 日本のさまざまな地域			歴史のとらえ方と調べ方 古代までの日本 中世の日本 近世の日本 開国と近代日本の歩み			社会 a 二度の世界大戦と日本 私たちの暮らしと経済 私たちが国際社会 社会 b 現代社会と日本と世界 私たちが現代社会 私たちが民主政治			公 共 (主権者教育を中心) 歴史総合 (近現代史)			地理総合 (地理的知識や持続可能な社会に関 わる事項) 政治・経済 (経済に関わる事項中心)					
													理系					
													文系					
													文系					
留意点	日本や世界の諸地域の地形や気候などの自然条件や産業などの社会的条件を学び、各地の人びとの生活や文化を理解する。 また、ハワードマップを活用した防災教育や地図の見方などを学ぶことにより、思考力や判断力を身に付ける。			日本の歴史の大きな流れを学び、わが国の伝統と文化への理解を深める。また、諸外国の歴史に触れることにより国際協調の意識を高める。 さらに、高校で履修する世界史探究・日本史探究の理解を深めるためにも諸外国との関わりに注目しながら学習する。			中学校で学習した内容を深化させるとともに、大学入試を見据え、基礎的な知識や思考力・判断力を修得する。 しかし、ただ単に「入試の知識」のみに終止するのではなく、「実学」として社会に出た際に必要な教養を培う。			1 年次に学習した科目に関連させつつ、教科書以上の内容を科目を横断して修得し、さらなる実力UPをめざす。また 2 学期後半以降は、通算外部模試対策に取り組み、目標の進路に向けて到達度の確認を行う。			2 年次から継続して履修する科目については、知識と探究力のさらなる修得をめざす。また、新たに学習する科目も含め、大学入学共通テストや難関大学の入試を意識して、目標に応じた問題演習に取り組む。					

学校行事について

本校では、生徒が主体となって内容を計画します。

その中で、協働して実践するための方法やさまざまな困難を乗り越えるために必要なこと等を学びます。集団で行うからこそ得られる達成感だけではなく、自己の現状に即して自ら課題を見だし、解決方法を実践したり振り返ったりしながら、生活をよりよくしていこうとする姿勢を身につけます。

年間行事(2024年度予定)

※行事は、内容の変更や中止になる場合もあります。

4月	入学式 新入生オリエンテーション合宿
5月	校外学習① 校内イングリッシュデイキャンプ(3年)
6月	体育祭 芸能鑑賞
7月	修学旅行(3年) サマースクール① サマーチャレンジ富士山登山(2年)
8月	サマースクール②
9月	文化祭 キャリア学習発表会(3年)
10月	英語スピーチコンテスト(3年)
11月	校外学習② 球技大会
12月	ウインタースクール 百人一首大会
1月	百人一首交流戦(常翔啓光学園中学校)
2月	ウインターチャレンジスキー実習(1・2年) マラソン大会
3月	卒業式 合唱祭(1・2年) スプリングスクール(1・2年)

体 験

日常生活ではあまり触れることのない文化やスポーツを楽しむ行事、また大人数の中で他者との関わりを学ぶことに重きをおく行事を中心に構成しています。

新入生オリエンテーション合宿、校外学習、芸能鑑賞、球技大会、百人一首大会、富士山登山、スキー実習、マラソン大会、修学旅行 など

語 学

中学校で本格的に学習する英語について、不安やとまどいを取り除いてより楽しく取り組めるように工夫された行事と、会話を重視した語学体験を中心に構成しています。3年次には海外修学旅行や希望者対象のターム留学があります。高校でも海外語学研修(希望者対象)や海外修学旅行(2年次)を予定しています。

英会話講座、校内イングリッシュデイキャンプ、英語スピーチコンテスト、英検対策講座 など

自己表現(発表)

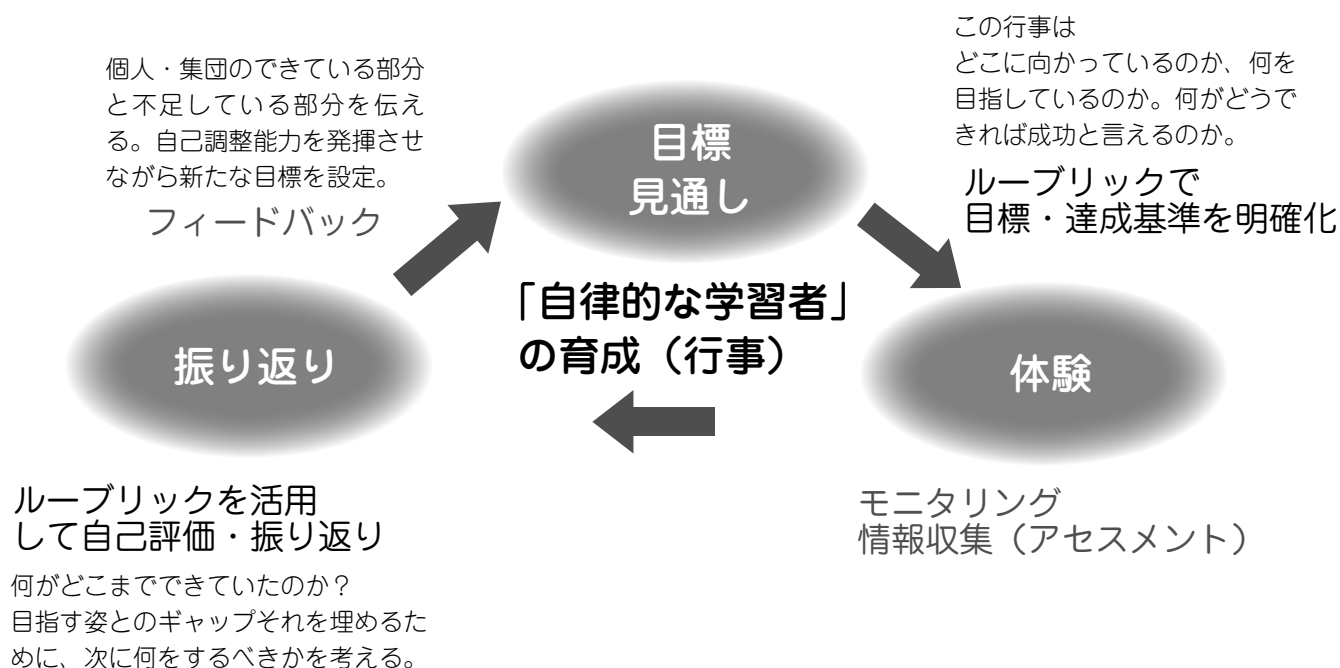
さまざまな体験を経て得たもの、日々の活動の中で作り上げたものを発表します。

自分の考えを何らかの形として表現し、他者に伝える。さらに発表を通して、互いに共感できる能力の育成を中心に構成しています。

体育祭、文化祭、合唱祭、キャリア学習発表会 など

「自律的な学習者の育成」に向け行事ループリックを活用

行事を通して「自律的な学習者」を育成する。そのために必要なサイクルを図解したのが下記の図です。



富士山登山

2022年度入学生（13期生）から、中学2年次の夏、学年全員で日本最高峰の富士山に挑んでいます。この富士山登山では、次のような目的や目標を設定し、生徒の人間的な成長や精神的成長、学年集団としての成長につなげることをめざします。

◆富士山登山の目的

人間的成長・精神的成長・学年集団としての成長を遂げ、常翔学園で過ごす6年間の基盤をつくる。

◆富士山登山のスローガン・目標

日本一の山、富士山への挑戦！全員登頂を目指しながらみんなの成長を見せよう！

- ・弱い自分と闘い、最後までやり遂げた時の達成感を味わう。
- ・最後まであきらめず、仲間と励まし合いながら、全員のチーム力で富士山登頂を達成する。
- ・集団で動くときのルールやマナーをきちんと身につける。
- ・人間的成長・精神的成長・学年集団の成長を実感して帰ってくる。

◆目標達成のために必要な要素

①「凡事徹底」

常翔学園中学校の一員として恥ずかしくない行動を心がける。時を守れ！場を清めよ！礼を正せ！

②仲間と共に「成長」する。

仲間と協力し、励まし合いながら全員のチーム力で富士山に立ち向かう。

③日本の最高峰に「挑戦」し達成感を味わう。

想定外は必ず起こる、それを恐れず自らの五感で立ち向かい、最後までやり遂げた時の達成感を味わう。

弱い自分に負けな！しぶとく乗り越えろ！

◆目標達成のために必要なステップ

登山の事前練習を通して、成功体験を積み、富士山登山に向け心の準備・物の準備を整える機会にする。

＜スモールステップで成功体験を積み自信をつける＞

中学1年（秋） 金剛山

初心者でも楽しめる人気の山 山頂までの登山時間 1時間30分

中学2年（春） 伊吹山

滋賀県最高峰、日本百名山、実際に登る標高差やコースが富士山に似ている。

一般的な山頂までの時間 3時間30分

中学2年（夏） 富士山 日本一の山、世界文化遺産

一般的な山頂までの時間 6時間30分(5合目～山頂)

◆富士山登山で重視したい要素

①行動力（未知の世界へ進み、自分の可能性を広げる力）

自分のなすべきことを認識し、自ら行動することができる。

②協調性・社会貢献（世のため、人のため、他者と協働し、社会に役立とうとする姿勢）

他者とのコミュニケーションを図り、協働しようという姿勢がある。

③倫理観（より良い社会を築くために人として正しく生きる姿勢）

世の中のルールやマナーを理解し、遵守する姿勢がある。

④自己肯定感（自分自身を価値のある存在として評価する姿勢）

自分自身を価値ある存在として肯定的にとらえ、前向きに生きる姿勢を持っている。

⑤主体性（自分の意志で学び続ける精神）

自分の意志で自分を高めようと心掛けている。

新入生オリエンテーション合宿

入学してすぐに全員が1泊2日で寝食を共にし、常翔学園中学校生としてスタートするための心構えを持ち、新たな集団の中での仲間づくりを目的に実施します。

校外学習

行先での活動内容等を生徒達で計画することを通して、話合いの進め方やよりよい合意形成、意思決定の方法を学びます。

体育祭、文化祭

全校で行う数少ない行事です。「京セラドーム大阪」で開催する体育祭では、中学生は常翔タイフーン・玉入れ・中学選抜チーム対抗リレーなどの競技に出場して競い合います。文化祭では、各クラスだけでなく部活動での発表・展示もあり、毎年多くのご家族の方々にご参加いただく、人気の行事となっています。

英語スピーチコンテスト

3年次全員を対象に実施し、自分自身の考えを英語で発表します。語学力の向上と自己表現力の育成を目的としています。

修学旅行（オーストラリア ケアンズ方面）

グローバルシチズンシップを育むことを目的として、海外修学旅行を実施します。現地の中高生・大学生との交流やファームステイ体験を通じて、多様な文化についての理解を深め、コミュニケーション能力を高めます。また世界遺産に登録されている大自然に触れることで、環境問題をはじめとするさまざまな社会課題を発見し、自己実現に向かう基盤を作ります。



時差がほとんどなく(+1h)
生活リズムを崩さずに
過ごすことが可能です。
大自然に囲まれた豊かな
環境で英語や文化を学びます。

クラブ活動

部活動の目的

中学校での部活動は健全な心身の育成、社会性や豊かな人間性を育てることを目的としています。本校は国公立・難関私立大学への進学をめざすため学習時間を長くとっていますが、学習一辺倒では豊かな人間性も育ちにくいと考えています。生徒たちが学業と部活動を両立できることが理想であり、メリハリのある学校生活を送ってほしいと思っています。部活動への参加は強制ではありませんが、一人でも多くの生徒が参加することを望みます。

設置クラブ

運動部／陸上競技・水泳・卓球・剣道・ラグビー・サッカー（男子）・柔道・空手道・ソフトボール・ダンス・男子バレーボール

文化部／吹奏楽・情報技術研究・合唱・科学・ライフデザイン

サークル／山岳部（野外活動）・美術・放送

活動内容

- ①学業と部活動を両立させるため、活動は週3日（火・木・土）の放課後に行い、火・木曜日は18時迄、土曜日は16時迄とし活動時間は2時間程度とします。
- ②基本的には早朝練習や日曜・祝日の練習は行いません。但し、公式戦等に向けた強化練習に関しては、学業に支障のない範囲で許可する場合があります。
- ③宿泊を伴う合宿は行いません。
- ④長期休暇中の活動は週3日程度とし、活動時間は半日（3時間程度）までとします。
- ⑤定期テスト1週間前から活動を停止し、学業に集中してもらいます。
- ⑥成績の低下や各種テストの基準点に達しない場合には成績の改善を優先し、フォローアップ補習に参加してもらいます。

自転車通学について

(1) 許可条件

次の①～④全てを満たしている場合、許可しています。

- ①徒歩20分（約2km）以上、自転車で（高校：40分・約10km、中学：30分・約8km）以内の範囲であること。※台数に余裕がある場合は許可される年もあります。
- ②自転車保険（生徒総合補償制度・他社）に入っていること（保険証書のコピーを提出してください）。
- ③盗難防止の為、2つ以上の鍵（チェーン式を含め）をつけ、使用すること。
- ④交通ルール・マナーを守り、安全運転に心がけること。

(2) 自転車通学の割合

全中学生の自転車通学の割合は約3割となっています。

ICTを用いた授業展開

本校は、2017年度からiPadを利用したICT教育を本格的にスタートしました。教室・図書館・レストランなど校内全館をWi-Fi化し、正課の授業だけでなく放課後の学習にも利用しています。Wi-Fi環境があれば、校外でも便利に使用することができます。ICT教育の利点を生かし、今まではできなかった新しいやり方で効果的・効率的な学習に取り組み、「知識・理解」「関心・意欲」の向上をめざします。

端 末



[iPadの仕様等（2023年度）]

- ・デバイス／iPad 64G モデル
- ・付属品／ヘッドセット、保護フィルム
- ・保証内容／3年間で累計の修理費用5万円までの保証になっています。累計の修理費用が5万円を超えた場合、超えた金額が必要となります。
例）修理代が2万円の場合、修理費は0円で残りの保証代金が3万円となり、次の修理代が4万円のとき保証の3万円を引いて1万円の修理費がかかります。
- ・価格(2024年度予定)／本体(保護フィルム付)140,000円(税込)

[アプリ（2023年度、iPadにインストール）]

- ・ロイロノート・スクール（クラウド版）
- ・Classi（クラウド版）
- ・その他のアプリ

※アプリは、iPadとは別に費用がかかります。

管理、ルールやマナー

- ①iPadはMDM（Mobile Device Manager）によって管理。アプリのインストールなど全てを本校で行い、SNSやゲームなどのアプリを自分でインストールできない仕組みとしています。
- ②SNSの利用や知的財産権（著作権や肖像権）について知識や理解を深める機会を多く設け、iPadやスマートフォンを適切に使用するよう指導しています。
- ③iPadは登校後、ホームルームの保管庫に入れ、授業前に取り出して使用します。
- ④充電は、必ずご家庭で行っていただきます。校内で充電することはできません。
- ⑤ご家庭でも利用できるようにインターネット環境の整備をお願いします。

取り組みのご紹介

- ・授業では、ロイロノートスクールを中心に授業が行われています。生徒たちが能動的な学習に取り組めるように工夫した授業を心掛けています。教員と生徒との相互通信を利用した学習により、プリントデータだけでなく、写真、動画ファイルなど授業を進行するために多く使われています。それ以外にも多くのアプリを利用し各教科で授業を行っております。

授業の風景



1 JOSHO⁺とは

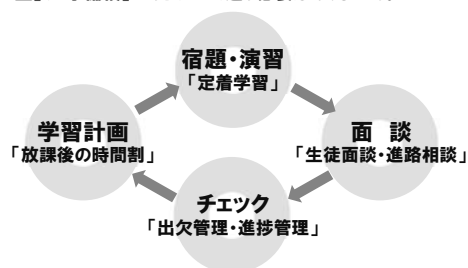
学校の授業で「わかった」ことを、
自学自習で「できる」に変える学習システムです。

家庭学習の『学校内完結』

毎日の家庭学習を、放課後に『学校内で完結』させる自学自習システム。

『自立学習習慣』の確立

校外の「塾」や「予備校」にあらためて通う必要はありません。



JOSHO⁺の運営管理者とチューターが生徒の放課後の学習管理を行います。上記サイクルを行い、「継続的・持続的」学力アップ、モチベーションアップを目指します。

2 コンテンツ

①質問型個別指導(全員登録)

- ◎自習中の質問にいつでもその場で一人ひとりに答える個別指導
- ◎毎日の宿題、課題のアドバイスから大学入試過去問まで対応
- ◎静かな環境で集中して学習ができる
- ◎運営管理者が放課後の時間割の進捗をチェックし、継続学習が可能
- ◎決まった曜日、時間帯で学習をすることで自立学習を習慣化

-AI教材型個別指導

- ◎AI型教材「atama+」を用いた学習
- ◎一人ひとりの課題や弱点を最短・最速で解消するルートを提示
- ◎運営管理者が学習状況を確認し、勉強の仕方や教材の使い方をサポート

②カリキュラム型個別指導 ※オプション

- ◎完全1:1の個別指導
- ◎苦手な単元を基礎からやり直し
- ◎志望校から逆算した個人別カリキュラムを作成
- ◎指導経験豊富な社会人講師
または難関大学に在籍する学生講師による指導
- ◎日本人中高生向けの研修を受けた外国人講師によるオンライン英会話

利用方法は人それぞれ

得意分野のレベルアップ！
苦手分野の克服！
難関国公立大、医学部も対応！
小論文指導も対応！



3 質問型個別指導のサポート内容

Study Planner で毎日の学習内容をチェック



①まずは中期の目標を確認・記入

中期の目標 (約2～3か月)	7月の期末テストは数学・英語で 7割以上の点を取る
-------------------	------------------------------

②中期目標を達成するための今週の目標を記入

今月の目標	課題プリントは全て提出する 授業で扱った単元の問題集をその週の うちにやる
-------	---

③今週の目標達成のため、今週実施することを教科毎に記入 実施にかかる目安の時間を記入(これまでの実施実績を参考)

今週の目標	問題集を○ページまで解く(1日1時間やる) 単語を△分で○個覚える
-------	--------------------------------------

④退室時に、運営管理者が本日の学習内容をチェック 学習アドバイスや今後の進め方を相談し、目標達成をサポート

個人別に放課後の時間割(学習計画)をサポート

作成

各自が放課後の時間割を作成

①学習日時 ②学習科目 ③演習量の計画
をたてます。

生徒面談

個人ごとに生徒面談を実施

定期的に①学習日時 ②学習科目 ③演習量
の計画の進捗を運営管理者が面談で確認しま
す。

調整

放課後の時間割の調整

修正後の放課後の時間割を作成。

4 JOSH0+利用の流れ

① レストラン内受付

- ①個人ファイルを取る
- ②バーコードをリーダーにかざす

入室時刻を
保護者のアプリへ
お知らせ！

② 学習スタート

- a.宿題・予習・復習に取り組む
※授業内容の確認・定着のため

- b.演習プリントに取り組む



・解き方がわからない時

チューターが質問に答えます



・勉強の仕方や進め方がわからない時

運営管理者が学習計画・進捗状況を確認し、サポートします

- c.AI型教材「atama+」に取り組む

- ①診断テストをする(目標設定時)
- ②おすすめの解説動画や演習を行う

- d.カリキュラム型個別指導(※オプション)を受講する

- ①受付で個別指導を受講するブースの指定を受ける
- ②専用教室へ移動し、マンツーマン個別指導を受講

③ 学習終了→下校

- ①本日の学習状況を個人ファイルに記入
- ②バーコードをリーダーにかざす
- ③個人ファイルを返却

退室時刻を
保護者のアプリへ
お知らせ！

5 学校の先生方との連携

運営管理者が適宜、先生方と一人ひとりの生徒について学習状況の報告や相談をします。

◎運営管理者からの報告例

『放課後学習の様子』『生徒面談の内容』等

◎先生方からいただくアドバイス例

『当日の宿題』『生徒ごとの学習理解度』等

先生方との緊密なコミュニケーションをとり、学校の授業と放課後学習を連携して、細やかな生徒対応を行います。

質問対応表

質問をする際には、指定の質問対応表に必要事項を記入します。質問対応表を記入することで、

- ◎自分のわからない箇所の整理ができる
- ◎質問が苦手な生徒も気軽に質問できる
- ◎1回10分程度、何度でも質問できる
- ◎よく出る質問を学校の先生へ共有できる

自習室 質問対応表

月 日 ※質問内容まで具体的に書いてください。

学年・クラス・氏名	科目	質問内容	対応者	受付時間	終了時間
年 組 番	英語	テキスト			
座席番号【 】	数学	単元			
記入時間	国語	具体的に			
:	理科	何が、どこでわからない？			
:	社会				
年 組 番	英語	テキスト			
座席番号【 】	数学	単元			
記入時間	国語	具体的に			
:	理科	何が、どこでわからない？			
:	社会				

AI教材「atama+」

全ての生徒がAI教材を利用できます。JOSH0+での利用または自宅でご自身のPCまたはタブレットでログイン可能です。



目標までの最適ルートが
おすすめで表示されます。

▲マイページ画面 (サンプル)

よくあるご質問

Q1	毎日参加しなければいけないのでしょうか？
A	面談を通し個別の放課後の時間割を決めますので、必ず毎日参加という決まりはありません。 ただし、学習必須の時間を設けていますので、その時間は必ずJOSHO+で学習をしていただきます。
Q2	祝日や夏休み、年末年始は利用できますか？
A	通常日曜・祝日は閉室となりますが、試験直前は開室します。 長期休暇中の開室については別途お知らせしますが、年末年始以外は利用できます。
Q3	質問型個別指導では毎月の費用以外に別途かかる場合はありますか？
A	ありません。 ただしオプションであるカリキュラム型個別指導を利用する場合は1コマ5,500円(税込)の別途料金が発生します。 カリキュラム型個別指導受講を希望の方は、JOSHO+担当までご連絡ください。 ※質問型個別指導の費用 1年(全員参加)：5,500円/月、2・3年(希望制)：11,000円/月(いずれも税込)
Q4	質問型個別指導では、一人ひとりに合わせた学習計画を作成してもらえるのでしょうか？ その場合、どの程度まで作成いただけるのでしょうか？
A	生徒と一緒に目標達成のための放課後の時間割を作成します。どの曜日にどの科目をどの程度行うのか、個人面談で詳細を詰めていきます。また、生徒の理解度や進捗状況に応じ、日々の学習の計画・チェックを行います。
Q5	どんな教科を学習することが出来ますか？
A	主要5教科は全て学習することが可能です。
Q6	各種テスト対策はできますか？
A	学校のシラバスに沿って対策が取れるので、効果的なテスト対策を採ることができます。 また、学校の教科の先生と連携しておりますので、生徒が苦手な単元を、プリント学習などで進めることも可能です。
Q7	英検対策はできますか？
A	可能です。英語についてはその他、4技能型の外部試験全てに対応しています。
Q8	どのくらいのレベルに向けて、どの程度の指導を受けることが可能でしょうか？
A	JOSHO+では生徒一人ひとりの学力や目標に応じたサポートをします。学習習慣を身につけたい、勉強の仕方を身につけたいという方はもちろん、発展的な内容にチャレンジしたいという方ももちろん対応致します。大学受験まで見据えた指導が可能です。
Q9	指導する先生は何人くらいいますか？
A	運営管理者が4名とチューター30名以上による体制です。 生徒数増加に応じて必要な数のチューターを用意しますのでご安心ください。
Q10	部活や習い事との両立は可能ですか？
A	可能です。放課後の時間割を面談等で作成します。 部活や習い事の時間を考慮しますので、無理なく両立ができます。
Q11	運営管理者とは何ですか？
A	学校に常駐するスクールTOMASの正社員です。生徒の学習管理・講師管理・学校との連携を行います。 ご質問・相談がありましたら、運営管理者にお気軽にお問い合わせください。
Q12	利用日は前もって連絡しなければいけませんか？
A	質問型個別指導の予約はいりません。毎日利用できます。 また、カリキュラム型個別指導は事前に授業日時・内容を決め、それに合わせて受講します。
Q13	JOSHO+での学習の様子を教えてくださいませんか？
A	運営管理者から定期的にお電話、あるいは面談でのご報告をさせていただきます。 学習時間は専用のWEBシステムにて都度ご確認くださいことが可能です。

お問い合わせ

JOSHO+に関するお問い合わせは以下までお願いします。

✉ josho-plus@school-t.co.jp

JPCシステムとは

本校では、JPC（Josho Parent Communication）システムという保護者との教育情報共有システムを整備しています。学校からの連絡に対しては「ドキッ」とされていたことが多かったのではないのでしょうか。「何か悪いことをした？」「点数が非常に悪かった？」等の連絡が多かっただろうと思います。また、学年・クラスや担任によって、対応が異なるという問題も経験されたことがあるのではないのでしょうか。本校では、生徒・保護者・卒業生・教職員を一つの「家族」（絆～きずな～）ととらえる学園の経営理念に基づき、「保護者サービスの継続性・定期性・一貫性」を実現するべく、保護者と教員間のコミュニケーションを積極的に行っています。本校では学校全体で保護者対応の仕組みを統一し、もれなく生徒の状況をご家庭に伝え、また生徒個々に応じた家庭学習に関する適切なアドバイスをを行います。

① 電話連絡

スターティングカルテに基づいて、電話連絡の日程を決定します。電話で保護者とお話しし、学校での様子を詳しくお伝えします。問題だけではなく、良かったこともお伝えし、一方でご家庭での学習状況・ご相談をおうかがいします。

また、その時のお話は生徒ごとの連絡カルテを作成し、日々の指導や懇談用の資料として活用しています。電話連絡時には生徒達がつける「Classiのデータ」「連絡カルテ」「定期テストおよび外部模試成績資料」を参照しながらお話しします。

※電話連絡については、生徒の成長段階に応じて学年が上がるに従い頻度を変更します。

スターティングカルテ

入学手続き類と一緒にスターティングカルテをお渡しし、電話連絡の希望と時間帯を指定いただきます。これにより保護者のニーズに基づいた電話連絡を組み立てます。

JPC システム スターティング・カルテ

1年()組()番 生徒氏名 _____

保護者氏名 _____

□ 連絡方法をご指定ください ※[]に○を付けてください。

(最終時間：月～金 18:30まで 土 15:30まで お願いします)

備考欄

※ 修正のご希望は担任までご連絡ください

※ 学校の電話番号は3年間（06-4300-6885）です。この番号をお控え下さい。

② クラッシー（Classi）



生徒の学習成績や日々の様子、行事の様子などを配信し、保護者、教員間のコミュニケーションツールとして活用します。保護者の皆様は、スマホやタブレットを用いて学校での様子を知っていただけます。

学習成績は、定期テストや模擬試験の成績も確認できます。成績推移も含めてお子様の成長を確認できます。

クラスごとにグループをつくり普段の様子や行事の写真をアップしています。限定公開ですのでより生徒の表情を見ることができます。

③ 保護者個人懇談

各学期末に、成績返却を兼ねて保護者個人懇談を行います（一人 20 分程度）。ご都合がつかない場合は、生徒本人とテスト結果について生徒面談を行い、ご家庭に結果を報告します。懇談時には「定期テストおよび外部模試成績資料」「連絡カルテ」「クラッシーのデータ」を参照の上、お話します。

④ 保護者会

バリエーションに富む情報提供型保護者会を実施します。節目節目で「外部模試結果報告」をもとに行事のご案内と報告、「大学受験に向けてのガイダンス」「家庭教育に関するアドバイス」「教育界でのニュース&トピックス」を取り混ぜて、バラエティ豊かな情報提供を行います。1 年次の予定は以下のとおりです。

実施予定月	内 容
6 月	各種テストの結果報告と本校成績表の見方、ベネッセ学力調査①結果報告、学習進度状況
1 2 月	2 学期成績一般、進級・転類について、ベネッセ学力調査②報告、スキー実習説明
3 月	1 年の振り返り、学習目標達成状況、次年度の予定とその準備について

※上記以外にも外部講師による講演会を予定しています。

⑤ ホームページによる NEWS

本校のホームページに行事などの様子を写真を添えてお伝えしています。学校の雰囲気を感じていただける内容となっています。

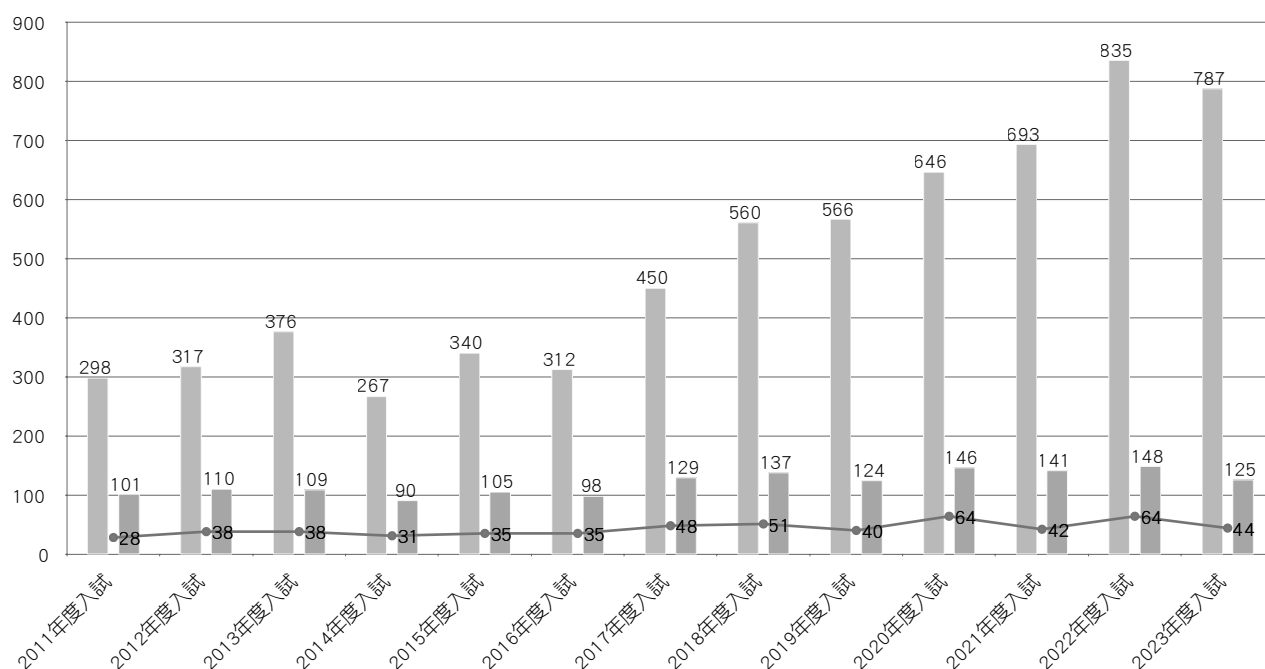
⑥ 保護者向け携帯連絡網サービス

本校では、携帯電話を利用してご家庭へのメール配信を行っています。生徒の登下校の確認のほか、本校からのご連絡や行事などのご案内を保護者の皆様へお伝えし、生徒一人ひとりをしっかりと見守る体制を整えています。

⑦ 登下校情報配信システム（ミマモルメ）

本校では、保護者への情報提供サービスの一環として、登下校情報配信システムを導入しています。このシステムは、生徒が IC タグを通学カバンなどに入れているだけで、学校の校門（正門・通用門）を通過すると、登録いただいているメールアドレスに校門通過情報をお知らせします。

① 志願者数・入学者数の推移



② 在籍者数（2023年5月1日現在）

	中学1年	中学2年	中学3年	合計
在籍数	125	143	127	395
女子数 (内数)	44	62	36	142

③ 通学地域（2023年5月1日現在）

	大阪市	守口市	北摂地域	尼崎市	門真市	東大阪市	寝屋川市	枚方市	その他	合計
人数	190	29	39	25	14	14	12	18	54	395

① 国公立大学・大学校 合格者数の推移（現役のみ） ※延べ数

	2019年度入試	2020年度入試	2021年度入試	2022年度入試	2023年度入試
国 立	16	7	9	7	15
公 立	2	1	10	8	10
大 学 校	10	8	4	5	5
合 計	28	16	23	20	30

② 私立大学・短大 合格者数の推移（現役のみ） ※延べ数

	2019年度入試	2020年度入試	2021年度入試	2022年度入試	2023年度入試
学園内計	96	62	169	65	83
関関同立	57	55	29	39	106
産近甲龍	57	43	34	31	67
私 立	63	43	34	31	58
短 大	0	2	3	2	1
合 計	279	224	326	188	315

③ 3ヶ年 合格大学等（国公立大学・大学校）詳細（現役のみ） ※延べ数

大 学 名	2021年度 入試	2022年度 入試	2023年度 入試
京都大学	1		
大阪大学	1		2
神戸大学		1	
東北大学	1		
京都工芸繊維大学		1	2
京都教育大学		1	
大阪教育大学			5
奈良女子大学			1
和歌山大学	1	1	
三重大学		1	1
筑波大学			1
千葉大学			1(1)
岡山大学	1		
山形大学		1	
鳥取大学			1
島根大学		1	
山口大学	2		
徳島大学	2		
福井大学			1

大 学 名	2021年度 入試	2022年度 入試	2023年度 入試
奈良県立大学			1
島根県立大学			1
北見工業大学	2		
大阪公立大学		1	3(1)
大阪府立大学	5		
京都府立大学			1
京都市立芸術大学			1
福知山公立大学		1	
兵庫県立大学		1	2
滋賀県立大学			1
青森県立保健大学		1	
三条市立大学		1	
北九州市立大学		1	
宮崎公立大学		1	
公立鳥取環境大学	1	1	
高知工科大学	1		
公立諏訪東京理科大学	1		
防衛大学校	4	4	5
水産大学校		1	
合 計	23	20	30

※（ ）は医学部医学科の数

④ 3ヶ年 合格大学等（私立大学・短大）詳細

大 学 名	2021年度 入試	2022年度 入試	2023年度 入試	大 学 名	2021年度 入試	2022年度 入試	2023年度 入試
大阪工業大学	29	33	19	常磐会学園大学			1
摂南大学	139	31	57	神戸国際大学			1
広島国際大学	1	1	7	奈良学園大学			1
関西大学	11	17	29	國學院大学			2
関西学院大学	2	7	16	甲南女子大学	5		
同志社大学	10	5	11	神戸学院大学	7		
立命館大学	6	10	50	武庫川女子大学	3	2	2
京都産業大学	5	8	10	関西国際大学			2
近畿大学	15	21	51	神戸女子大学	6	6	
甲南大学		1		神戸芸術工科大学	1		
龍谷大学	14	1	6	同志社女子大学	1		1
京都薬科大学		2		大谷大学	1		
大阪医科薬科大学	1		1	京都外国語大学			3
神戸薬科大学	2			京都女子大学	3		7
関西医科大学	1			京都精華大学			1
明治大学	1			京都橘大学	1	5	3
関西外国語大学	4		8	佛教大学	1	3	2
桃山学院大学	3	1		京都先端科学大学	2	1	
桃山学院教育大学	3			京都美術工芸大学	1		
関西福祉科学大学		1		京都芸術大学 (京都造形芸術大学)	1		
阪南大学	11			畿央大学		2	1
大阪歯科大学	1			東京理科大学	1	1	
追手門学院大学		5	3	成安造形大学		1	
森ノ宮医療大学			2	創価大学		1	
大阪経済大学	1	4		日本大学			1
大阪産業大学	3		1	中京大学	1		
大阪電気通信大学	4	1	2	札幌保健医療大学		1	
大阪学院大学			1	日本医療大学		1	
大阪成蹊大学	2	2		北海道医療大学		2	
大阪人間科学大学		1	1	北海道科学大学		1	
大手前大学			1	東海大学		1	
大阪樟蔭女子大学		2		武蔵野美術大学		1	
藍野大学			2	日本医科大学			1
大和大学	13	4	3	北里大学			1
四天王寺大学			1	大手前短期大学	1		
太成学院大学		1		関西外国語大学短期大学部	2		
梅花女子大学	6		1	大和大学白鳳短期学部			1
大阪行岡医療大学			1	合 計	326	188	315

【コースについて】

Q：スーパーJコースと特進コースで学習の進度が違いますか

A：原則同じですが、取り組む問題の難易度などが異なります。

Q：コース間の入れ替えはありますか。およそ何人くらいですか

A：年度によって異なりますが、例年5～6人程度となっています。特に制限は設けていません。

Q：コース間の入れ替え条件を教えてください

A：本人の希望と、成績や適性を考慮して入れ替えています。

【特待制度について】

Q：特待制度とはどのようなものですか

A：スーパーJコースの合格者のうち成績上位者を対象としています。

常翔スカラシップAは入学金の全額および中学校在学中の3年間毎年64万円（年間授業料全額）を給付。常翔スカラシップBは入学金の半分および中学校在学中の3年間毎年32万円（年間授業料の半額）を給付しています。

Q：特待制度は高校でも続きますか

A：高校の特待生については、中学3年時に受ける実力確認テストや定期テストなどを総合的に考慮して再度選考し直します。

【学校生活について】

Q：スマートフォンの扱いはどうなっていますか

A：中学校では原則、持ってこないよう指導しています。ただし、安全確保などのために持参する必要がある場合は、朝礼時にスマホを預かり、下校時に返却するようにしています。

Q：iPadをどのように使っていますか

A：授業だけではなく、総合的な学習や文化祭などの行事で利用したり、家庭学習や保護者への連絡などにも活用しています。

Q：グループワークや発表が多い学校と聞いていますが、大人しい生徒でもやっていけるでしょうか

A：教員のいる前でのグループワークからスタートします。さまざまな考え方があることを学び、自分の得意なことを見つけることのできるいい機会となっています。一人では出来なくても仲間となら出来るといった経験を一緒に重ねていながら成長していきます。

Q：中学生も食堂を利用できますか

A：本校には大人数利用可能なレストラン「エスペランサ」があり、中学生も利用できます。4時間目の終了時刻を調整し高校生より5分早くレストランを利用できるよう配慮しています。また、朝のうちに職員室で注文しておけば昼に受け取って教室で食べることができる栄養バランスを考慮した日替わりの「ランチボックス」があります。そのほかにもラーメン、カレーなどの定番メニューもあり、豊富なメニューが特長です。
そのほかにも焼き立てパンの販売もあります。

Q：部活動について教えてください

A：活動日は、火・木・土の3日間で合宿などは実施していません。大会は部活によって頻度が異なります。また、練習時間は遅くとも18:00までとなっており、18:30には完全下校できるようにしています。

Q：気になることがある場合はどのような対応をしていますか

A：日頃より担任、学年団で生徒との会話の時間を多く作っています。また、家庭との連絡を密に取ることで日頃の様子を随時お伝えすると同時に、不安なく学校生活を送ることが出来るよう努めています。スクールカウンセラーも常駐していますので、必要に応じて利用していただけます。

【成績関係について】

Q：勉強についていけない場合はどのような対応がありますか

A：成績不振者対象の講習や放課後のフォローアップなどで対応しています。
毎朝のモーニングテストや日々のデイリーワークなどに誠実に取り組むことで学力を身につけていきますので、日々の努力は必要です。

Q：塾に通わないと授業についていくことが難しいですか

A：月・金放課後の学習タイムや JOSH O⁺の時間を利用して、宿題やテスト勉強などに取り組む時間が十分にあります。特に JOSH O⁺では AI 教材を用いて各自の苦手が克服できるシステムなので基本的に学校内で勉強はすべて完結するようになっています。詳細は P 18 をご参照ください。

【大学進学について】

Q：学園内大学への内部進学について教えてください

A：学園内大学への内部進学制度を利用できるのは、高校の文理、薬学看護医療系、グローバル探究コースです。この制度を利用するためには、欠席日数や評定などの条件を満たす必要があります。高校でスーパーコース、特進 S クラスを選択した生徒は、最難関国立大学、難関国公立大学、難関私立大学を目標としているため、制度の対象になっていません。今後内部進学の対象については変更になる場合もあります。

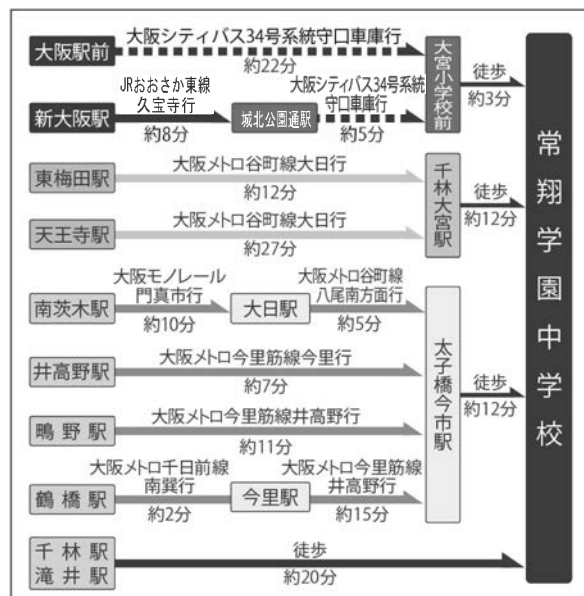
大阪駅から大阪シティバス最寄停留所
(大宮小学校前)まで約22分。バスは2
～4分に1本の頻度で運行しています。
大阪メトロ御堂筋線・谷町線・今里筋線
などを利用した通学も可能です。



学校周辺MAP



●バス停「大宮小学校前」より徒歩約3分
●京阪本線「千林駅」より徒歩約20分
●谷町線「千林大宮駅」より徒歩約12分
●谷町線・今里筋線「太子橋今市駅」より徒歩約12分
●京阪本線「滝井駅」より徒歩約20分





常翔学園中学校

〒535-8585 大阪市旭区大宮5丁目16番1号
<https://www.highs.josho.ac.jp/junior/>

入試に関する
お問い合わせ先

06-6954-4436